

8月の休日診療

海部地区急病診療所

津島市莪原町字郷西37 ☎(25)5210
 病状などのお問い合わせは、受付時間
 に直接お電話してください。

受付時間

内科・小児科

日曜日・祝日
 年末年始 午前9時～11時30分
 午後1時～4時30分

歯科

日曜日・祝日
 年末年始 午前9時～11時30分
 午後2時～4時30分

上記の受付時間外、平日夜間に急病で
 困ったときは救急医療情報センター
 【☎(26)1133】へ

休日診療(外科)

診療時間 日曜日・祝日・午前9時～正午、午後1時～5時
 ※午後5時以降は消防本部【☎(26)1100】へおたずねください。

日(曜)	病院名	電話番号	住所
3(日)	いくた整形外科 クリニック	0567(25)9911	愛西市内佐屋町 西新田81-1
10(日)	浅井外科クリニック	052(441)8002	あま市七宝町 沖之島九ノ坪44
11(祝)	リハビリ整形外科 385クリニック	0567(69)8150	愛西市大野町郷西122-2
17(日)	鈴木整形外科	0567(28)8838	愛西市日置町本郷71
24(日)	あま中川整形外科・ 手のクリニック	052(526)7757	あま市七宝町 沖之島九ノ坪106
31(日)	駅前ふじたクリニック	052(462)0222	あま市甚目寺五位田 103KAFOビル

あいさい見聞録

その59

くいな ぎょうぎょうし
 水鶏と行々子

江戸時代の1694(元禄7)年、松尾芭蕉が現在の愛西市
 佐屋町を訪れ「くいな鳴くと 人の云えばや 佐屋泊」と俳句
 を詠み、芭蕉没後に佐屋の門人達が詠んだ場所に建てた
 句碑「水鶏塚」が残っています。句に詠まれたクイナとは、と
 ても憶病で姿を見ることはほとんどありませんが、芭蕉が
 その鳴き声を好んだ緋水鶏(ヒクイナ)とは鳩ほどの大きさ
 の鳥です。今でも稀に愛西市内の水辺で「コッ、コッ、コッ」
 と扉を叩くように鳴いています。

また、江戸時代の俳人・横井也有は「言ひまけて 一羽は立か 行々子」の句を詠んでいます。行々子とは鳴き
 声から付けられたオオヨシキリという鳥の俗名です。オオヨシキリも容姿は目立たないスズメほどの鳥で
 すが、愛西市の水辺で「ギョギョシ、ギョギョシ」とや
 かましいぐらいに鳴いています。

このように、水鶏も行々子も鳴き声を夏の季語
 として古くから親しまれ、俳句に詠まれています。
 一方、マナヅルなど渡りをするツルは冬鳥として扱
 われ、ツル渡るは秋、ツル帰るは春、の季語になる
 ようです。ただし、コウノトリやタンチョウヅルは、
 季節移動はしますが季語にはならないようです。

愛西市にある昔ながらの水辺には、季節感を表
 す風流な自然音楽があります。花蓮だけでなく周
 囲の音にも関心を持って散策してみてもいいか
 でしょうか。



【図説】花蓮の上で鳴く行々子(オオヨシキリ)
 撮影：橋本鉄之 様

問 市観光協会 ☎(55)9993

人口のうごき 【7月1日現在、()は前月比】

総人口60,099人(△60) 男29,422人(△32) 女30,677人(△28)
 世帯数24,651世帯(△9)